

第31回 共同実施事業管理委員会 東京都作業部会
議事要旨

日時：令和元年5月14日（火）10:00～11:30

会場：東京都庁第一本庁舎33階南側A-1会議室

1 開会

2 議事

(1) NESAに基づく機器発注について（第3回）

<説明・確認>

- ・事業の概要について組織委員会から説明。個別案件確認表について、組織委員会及び東京都からそれぞれ説明。
- ・「東京都が負担する経費の基本的な考え方」の4点に対応していることを確認。

<質疑、意見など>

- ・資料1「今後の調達計画」で、4回目の発注は残りの必要分となっている。4回目为主となる発注であり、それでは準備に支障があるものを先行して発注しているということか。各会場で納品可能な時期が異なると思うが、発注は一括でよいのか。
⇒IBC/MPCのように先の稼働が見込まれる機器を先行して発注している。4回目まで発注すると、各競技会場や組織委員会の執務拠点等をネットワークで結ぶことができるが、その先の諸室まで結ぶネットワーク機器については、職員がどこでどのような活動を行うかななどを定義しないと、要件が定まらず発注が難しい。
- ・4回目の発注についても、計画的に発注するということはしないのか。
⇒大量のネットワーク機器が必要になること、海外に発注しなければならないことなどから、まずは生産ラインを確保するために小分けに発注している。納期を見込めたところから発注してきたが、4回目の納品はMDC（大会運営用倉庫）にキittingして保管するという運用をする。
- ・5回目以降は、何回かに分けて発注をすることだが、どのような扱いになるのか。
⇒1回目から4回目までは、どこに諸室を作った場合でも必要な工事であり、最低発注台数である。5回目はネットワークを諸室に引く工事で、全ての競技会場で行うことになる。5回目以降は追加分として発注するが、単価は据え置きで交渉したい。

- ・1回で全て発注し納期をずらせばよいと思うが、要件が定まらないため発注できないということか。

⇒そのとおり。一定の時期を過ぎると発注単価が高くなってしまいが、その前ぎりぎりまで発注内容を精査することで、予備として用意する分を縮減し、経費を削減する。

(2) オーバーレイブック更新等業務委託について

<説明・確認>

- ・事業の概要について組織委員会から説明。個別案件確認表について、組織委員会及び東京都からそれぞれ説明。
- ・「東京都が負担する経費の基本的な考え方」の4点に対応していることを確認。

<質疑、意見など>

- ・今回記載のない会場の発注は行わないのか。
⇒ブロックプランを作成しているので、発注しないということではない。DBのスケジュールに合わせて追加していくことになると思う。
- ・今回、基本設計の事業者の特命で随意契約をしようとしているが、実施設計を行った事業者へ委託するより経費を抑えることができるのか。
⇒実施設計を行った事業者にもお願いしたが、受けていただけなかった。
- ・各会場の進捗状況が分かりにくい。仮設整備に関して、どこかの段階で全体のコストや進捗状況を共有していただきたい。
⇒今後共有できるように調整したい

(3) 平成30年度の共同実施事業について

(4) 令和元年度の共同実施事業について

<説明・確認>

- ・資料7「平成30年度 共同実施事業 決算の概要」及び資料8「令和元年度 共同実施事業の概要」について事務局から説明。

<質疑、意見など>

- ・令和元年度の交付対象事業について、10月以降消費税引上げとなるが、契約ごとに税率を分けて計上しているのか、機械的に一律8%や10%で計上しているのか。
⇒機械的に計上している。今後精査した段階で、消費税部分の額が変わる可能性もある。
- ・関係者のバス車両のオリパラ按分比について、オリパラ両方で使用するもの、オリンピックだけで使用するものがあるのか。
⇒実態として、同じバスをオリパラ両方で使用する可能性もあるが、使用期間が重ならないため、各期間のバスの延べ台数はカウント上別

扱いとしている。

(5) 定額未満案件について

<説明・確認>

・資料9「共同実施事業 定額未満案件一覧表」について事務局から説明。

<質疑、意見など>

特になし

3 意見交換

特になし

4 閉会